

2023年3月11日

2023年度（令和5年度）事業計画書
（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

公益財団法人 天田財団
理事長 末岡 慎弘

I. 財団運営の概要

長引くパンデミックもようやく落ち着き、日常を取り戻すことができる兆しが見えてきた一方、ロシアのウクライナ侵攻の長期化により世界経済の先行きの不透明感はいっそうが増している。また、科学技術の分野ではDXへの対応やSDGsの達成、カーボンニュートラルの実現など技術的課題が山積しており、時代はまさにイノベーションを求めているが、我が国の研究開発環境には様々な課題や不安があり、特に研究資金の確保や若手研究者の人材育成は喫緊の課題である。

天田財団は、研究の進展を支え、若手研究者や技能者の育成を推進し、その成果を社会実装に繋げることを目標に公益事業を展開する。

II. 事業の内容

1. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術の調査・研究に対する助成として、総助成件数80件、総助成金額2億6,000万円を計画する。以下にその内訳を示す。

（1）重点研究開発助成

財団が提示した複数の課題をもとに、研究者が独自に研究テーマを設定した研究に対する助成として、助成件数6件、助成金額6,000万円を計画する。

（2）一般研究開発助成

研究者が自ら現在進行している研究に対する助成として、助成件数52件、助成金額1億5,600万円を計画する。

（3）奨励研究助成

若手研究者の育成を目的に自らがテーマとした研究に対する助成として、助成件数22件、助成金額4,400万円を計画する。

2. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術に関する国際交流の促進及びその助成として、総助成件数26件、総助成金額1,790万円を計画している。以下にその内訳を示す。

（1）国際会議等準備・開催に係る助成

国内で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等の準備・開催に対する助成として、助成件数4件、助成金額400万円を計画する。

- (2) 第1回国際会議等準備・開催に係る助成
海外にて実績がある国際会議で、国内で初めて開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等の準備・開催に対する助成として、助成件数2件、助成金額300万円を計画する。
- (3) 国際会議等への参加に係る助成（単独参加）
海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等への参加に対する助成として、助成件数10件、助成金額450万円を計画する。
- (4) 国際会議等への参加に係る助成（院生等同行参加）
海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等へ関係する院生等を同行して参加する助成として、助成件数4件、助成金額360万円を計画する。
- (5) 国際会議等への参加に係る助成（若手限定）
若手研究者が海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等への参加に対する助成として、助成件数4件、助成金額180万円を計画する。
- (6) 国際シンポジウム準備・開催に係る助成
研究者自らが中心（主催者）となり、3か国以上の研究者を招聘して開催するシンポジウム等の準備・開催に対する助成として、助成件数2件、助成金額100万円を計画する。

3. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する助成した研究や国際交流の成果の普及啓発事業として、以下を計画する。

- (1) 助成成果報告書の発刊及び配布事業
研究開発助成事業、及び国際交流促進事業によって報告された成果を年度ごとに「天田財団助成研究成果報告書」として、1987年から2022年度までの研究成果報告書を記録した、キーワード検索機能付きのDVDを付属して発刊し、国内研究機関並びに産業界等に配布して普及啓発を行なう。本年度は配布部数1,900部を計画している。
- (2) 機関誌（Form Tech Review）の発刊及び配布事業
毎年度特集テーマを設定し、過去の成果報告の中から特集テーマに相応しく、かつ技術の向上と発展に効果が大いだと判断される研究を選考して、その研究者にその後の研究の進展を加え改めて執筆された論文を、機関誌「Form Tech Review」として刊行する。本年度は配布部数2,000部を計画している。

(3) 財団ニュースの発刊、配布事業

財団の公益事業活動を広く紹介する「天田財団ニュース」を年2回発刊し、研究成果発表会や公共展等で配布、普及啓発を行なう。本年度は総配布部数で4,000部を計画している。

(4) 助成研究成果発表会の開催事業

2023年度（令和5年度）は、新型コロナウイルス感染症に対する対策を施しながら、通常開催を実施する。

① 第6回レーザプロセッシング助成研究成果発表会

日時：2023年4月19日

場所：パシフィコ横浜（OPIE'23の公式イベントとして併設開催）

参加：150名程度

② 第20回塑性加工助成研究成果発表会

日時：2023年6月9日

場所：名古屋工業大学（塑性加工春季講演会と同時開催）

参加：150名程度

(5) 2023年度（令和5年度）天田財団助成式典の開催

2023年度助成者に対する「助成金目録贈呈式」及び助成研究報告された研究者による「招待講演会」からなる助成式典を実施する。

日時：2023年11月25日

場所：AMADA FORUM

(6) 公共展への参画事業

助成研究成果の産業界への普及啓発を目的として、対象領域に適した以下の公共展に参画する。

① OPIE'23

日時：2023年4月19日～4月21日

場所：パシフィコ横浜

② Photonix 2023

日時：2023年10月4日～6日

場所：幕張メッセ

③ Laser Solution 2024

日時：2024年1月（詳細未定）

場所：未定（レーザー学会学術講演会年次大会併設）

4. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に従事する者の技能と地位の向上を目的とした資格の取得に対する助成として、総助成件数500件、総助成金額1,000万円を計画している。

本年度は、職業能力開発促進法施行令で指定され、都道府県職業能力開発協会が実施する技能検定の職種である「工場板金」と「金属プレス加工」に新たに「レーザー加工作業」を加え、技能検定に係る「受検手数料」の受検者本人の負担軽減を目的とした助成を行う。

(1) 前期技能検定 (助成件数200件 助成金400万円)

- ① 曲げ板金作業 (1・2・3級)
- ② 打出し板金作業 (1・2・3級)
- ③ 金属プレス作業 (1・2級)
- ④ レーザー加工作業 (1・2級)

(2) 後期技能検定 (助成件数300件 助成金600万円)

- ① 工場板金 (特級)
- ② 機械板金作業 (1・1級)
- ③ 数値制御外臼パソソリ板金作業 (1・2級)
- ④ 金属プレス加工 (特級)

以上